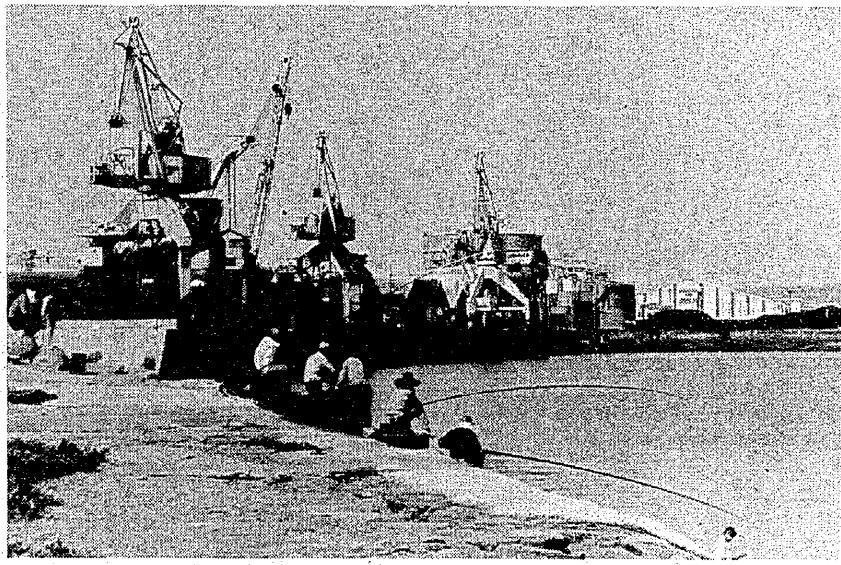


## 風物詩



## 6月のじよみ

初夏の陽ひこなめぐれぬながら、釣り人でにぎわい三池港。(五月二十一日写す。後方は石炭積み込みのタックカー)

○… 1日は気象記念日、電波の日、写真の日と記念日の相乗り。四日は6—4の語路合せで虫歯予防デー、五日は世界環境デー、七日が計算記念日で、十日が時の記念日。六月の第三日曜日(十九日)は父の日ですが、五月の母の日は出でるとかげが薄いのです。夏至は二十二日。二十三日は沖縄の終戦記念日「慰霊の日」です。

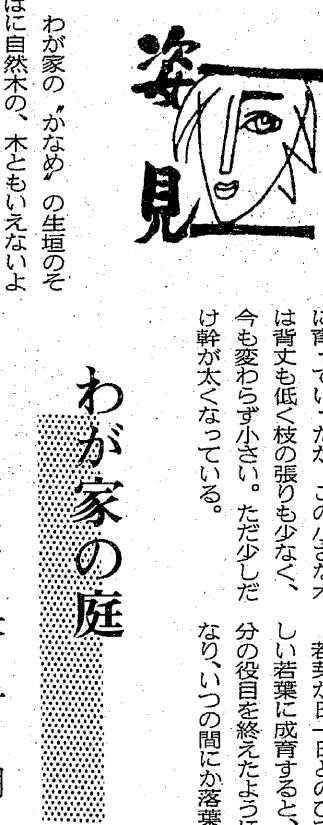
○… 六月はむし暑い晴天の日が多くなるのです。梅雨入りはほぼ毎年並みで、関東甲信越地方では九日(?)の見込み。(しかし)しばらくは少雨傾向が続き、本格的に梅雨らしいじめじめした天気になるのは後半にはいつてから、といふ予報。

○… 梅雨びあは、洗濯をいままでして、かわかす工夫をいろいろするといふ。扇風機やドライヤーを使って干すのもうまい利用法。石油ストーブを持ち出して、室内の物干し器の下でつります。妻(?)には一石二鳥の効果があります。

[連句]

わが家の庭  
に育つていつたが、この小さな木  
は背丈も低く枝の張りも少なく、  
今も変わらず小ささ。ただ少しだけ幹が太くなっている。

若い若葉に成育するが、堅葉は自分の役目を終えたように黄褐色になり、こひの間にか落葉している。



わが家の、かなめの生垣のそばに自然木の、木ともいえないような小さな一本の木がある。たぶん柴の一種だ。五、六年前には掃除をしている時に気がついたが、わが家には庭木らしい木もなく、風景だったで、格好の木の間から小さな芽を出し、堅葉

季節がめぐって一齊に若芽を吹き出すが、この小さな木も古い歴史があったのだと思いつまじめておいた。は若芽をかき捨てはじつかり時間が経た、他の樹木はそれぞれと保護している。

三池分会 米 村 朝 子

ある朝私は、静かにその小さな木の根元に掃除をしてやる。戦争の恐怖や政治の不安がウン

小鳥の声がチッチ、チッチと聞こえ、さわやかな風が梢を揺らしている。季節がめぐつて一齊に若芽を吹き出すが、この小さな木も古い歴史があったのだと思いつまじめておいた。

妻

おおかたの春闘は終りおくればせにわが組織も春闘に立ち上りたる洗いあげしまじおきし臓闘闘の指令あればひきだして出だしはめたり団交の決裂シスト指令出でし僵恒例の早期妥結とおほやわざやかるはやばやとスト解除せり賃上げの額かなしもよ百七十五円

要求にはなおほど遠く超低額に譲感と執行部批判ひゆがん終えてお尾を引きつゝ選舉違反おくだつたの報日々かまびすし知事いびほや始まりぬ県議会深夜までおよび流会となる幹部四人の釈放もとめ仲間数(す)千余社ひけ抗議のデモ実施される不當逮捕の真知すべく市民向けの各言じう配布の指令の出でなかつて市長選に配りに来し町坂の道こたびは不當逮捕のじう持たる汗だりに配りゆ坂道にアマリリスは朱き花開きおだ

モチ、クスなど、庭木ならぬ雑木

## 6月のじよみ

紫蘇(しも)は、栄養分も多く獨特の香りには、強い防腐力があり、二十グラムでしゅう油一石を

や豆腐料理の調味はもちよく、浅いお香りにすると、食欲がそれをあわす。

紫蘇の葉と実 葉も実も薬用になります。実は乾燥してお茶代りに飲むと、咳や痰を取り、青紫蘇の焼酎漬けは神

田(みどり)、コレステロールを下げます。月中旬。食べられるのは、七月中旬へ九月。

[連句] いよいよ、コレスチロールを下げます。月中旬。食べられるのは、七月中旬へ九月。

梅雨とつきあう 経痛、リュウマチ、腰痛などに効くのですが、食べすぎると肝臓障害を起すが、食べすぎると腎臓障害を起すかも。

梅雨のじよみ

梅雨のじよみ